

様式 3

令和 4 年度 第 1 回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立境高等学校

学校長 松田 敏男

評 価 日		令和 4 年 7 月 4 日 (月)		
委 員	氏 名	性別	資格・所属等	委員長
	松原 隆	男	境港市教育委員会事務局長	
	清水 厚志	男	境港市上道公民館長	
	永井 美央	女	鳥取県立境高等学校同窓会副会長	
	古橋 剛	男	境港市観光協会事務局長	
	山根 真一	男	鳥取県立境高等学校 P T A 会長	○
評 価 ・ 提 言			学校の所見・改善策等	
1 目標設定について ○校訓通り学びと部活動にバランスよく取り組まれている。 2 評価項目と目標達成のための取組について ○生徒アンケートの「自分や他人を大切にできる」に関して、高い目標を掲げそれが結果につながっている。志がないと夢の実現にはつながらない。 3 具体目標について ○特に意見なし。 4 目標達成のための具体的方策について (1) 生徒の進路実現について ○経年調査を見ると、年によって国公立大学の進学者など進路の状況が大きく違う。情報をもっと発信してほしい。 (2) 一人 1 台端末について ○端末をどのように活用していくかが今後の課題となる。			○学力向上に取組みつつ、生徒が様々な事にチャレンジすることにより進路実現を図ることができる体制を構築する。 ○ボランティア活動や地域での要請に応える活動をとおして、生徒は成長していると感じる。 ○評価項目は前年度と変更がなく、前年度最終評価の改善法策がそのまま目標達成のための方策となっていることを説明。 ○進路状況は H P に掲載している。前年度は、大学入試共通テストが難化し思うようにいかなかった。 ○教職員の研修や、活用の方法を教職員間で共有することにより、より有効的に活用していき	

(3) 「境考学」について ○昨年度の授業を参観して、グループによって取組の深浅が様々であった。教員の導きが必要と感じた。生徒が問題意識を持っていることはわかったが、郷土への愛着や「境考学」から進路実現にどうつなげていくかなどはあまり感じられなかった。 ○チームで物事の課題解決にあたることは、社会に出てから役に立つのでよいことだと思う。 5 その他 ○昨年度の公民館まつり参加は非常に好評であった。今年度も地域のイベントに参加してほしい。	い。 ○教職員の力量の差は感じている。令和3年度は先進校視察ができなかったが、今年度は実施して、教職員のスキルアップを図る。 ○地域で生徒が参加できる情報をどんどん提供していただき、生徒の活動の場を増やしたい。
---	---